

# 産官学の フューチャープラン

広島県

第14回

38、☎0824-63-5331)は、センサーのコアとなる薄膜技術を独自に開発し、ディーゼル車向けの尿素品質センサー、オイル品質センサー、

## サンエー

# オンリーワンの尿素品質センサー

## 環境応用製品を展開し夢は100億円

「などをコアに発展してきた。いわばオンリーワン技術を持つ強みを活かして、今後はセラミック基板上に複合機能を有する多層製膜などの分野も拡大していく考えだ。また、複合センサーの世界にも標準を合

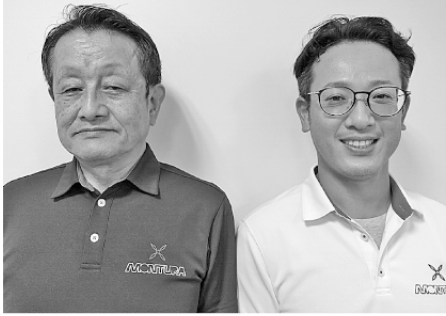
力事業にしてきたが、現在は当社独自の薄膜技術を用いたセンサー事業を中核とするカンパニーに発展してきた。」

「現在は1969年に広島県三次市で創業し、これまで50年以上の歴史を積み重ねてきた。創業当初は電子部品、自動車部品の組み立て受託を主

上げを持っている。」

「32・5%」・異物混入の計測を実現する。車の走行中や大きな振動など厳しい動作環境でも正確に出力するため、常時監視が可能となる。

「10年には燃料識別センサーを開発した。これは燃料の不純物検出、燃料の多様化に対応したものである。当社のセンサーは、人間の指の1万倍以上の感度で熱伝達率を



山岸氏(左)と吉住氏

「現在のサンエーは、ひろしまイノベーション推進機構から出資を受けて再生し、かつ三井金属鉱業から尿素センサー関

「現在、座石の銘は「失意平然 得意冷然」というものであり、苦しいときにも平常心を忘れず、絶対調の時にはむしろクールに考えていく、という哲学なのだといえよう。

「当社およびクリヤマグループが得意とする建

機、農機、トラックの分野では、化石燃料を用いるエンジンは当面使用され続けると思っている。地球温暖化対策として生物資源燃料や化学合成燃料などが広く利用されることになり、尿素品質センサー応用製品、燃料識別技術はますます必要とされると考えている。当社は、この機会を積極的なビジネスチャンスと捉え、国内異業種各社と協業し事業拡大を図りたい。」(吉住社長)

(特別編集委員 泉合彦)